

2008年度(09年3月期) 第1四半期決算概要

2008年7月31日
日本電気株式会社

＜将来予想に関する注意＞

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8) NECに対する規制当局による措置や法的手続きによる影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。

I .決算概要

08/1Q決算のポイント

■今期目標に向け着実なスタート

- ・営業利益:41億円
 - ネットワークシステムが下振れたが、ITプロダクトや半導体が上振れ

■成長戦略に向けた施策を遂行

- ・海外事業拡大のための提携・M&Aの推進
 - ネットクラッカー、OCC、Linecomの買収決定
 - SAPグローバルコンピテンスセンターの開設
- ・携帯電話機新機種拡大→1Q目標160万台達成

1Q実績/上期予想サマリー

(単位:億円)

	1Q		
	07年度 実績	08年度 実績	前年 同期比
売上高	10,078	10,012	- 0.7%
営業利益	113	41	-72
<i>売上高比</i>	<i>1.1%</i>	<i>0.4%</i>	
経常利益	82	71	-12
当期純損益	10	5	-5

	上期		
	07年度 実績	08年度 予想	前年 同期比
売上高	21,406	21,500	0.4%
営業利益	274	300	+26
<i>売上高比</i>	<i>1.3%</i>	<i>1.4%</i>	
経常利益	98	120	+22
当期純損益	-47	-40	+7

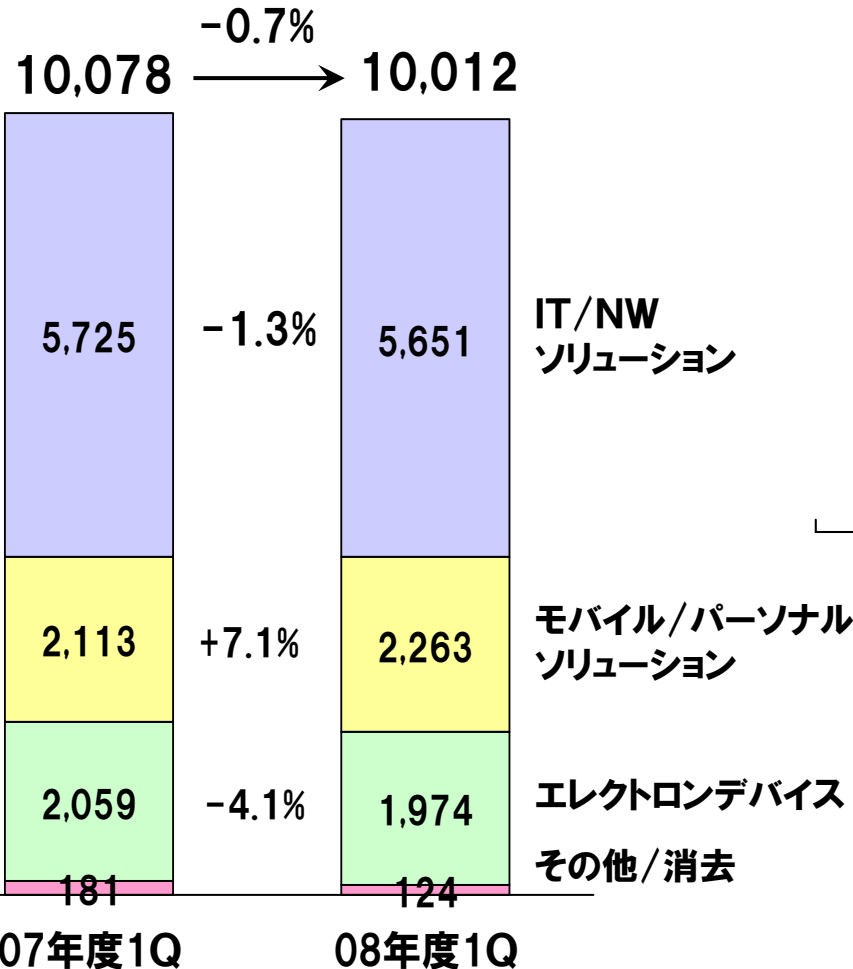
*予想値は2008年7月31日現在のもの

II.セグメント別事業の状況

08年度1Q セグメント別実績

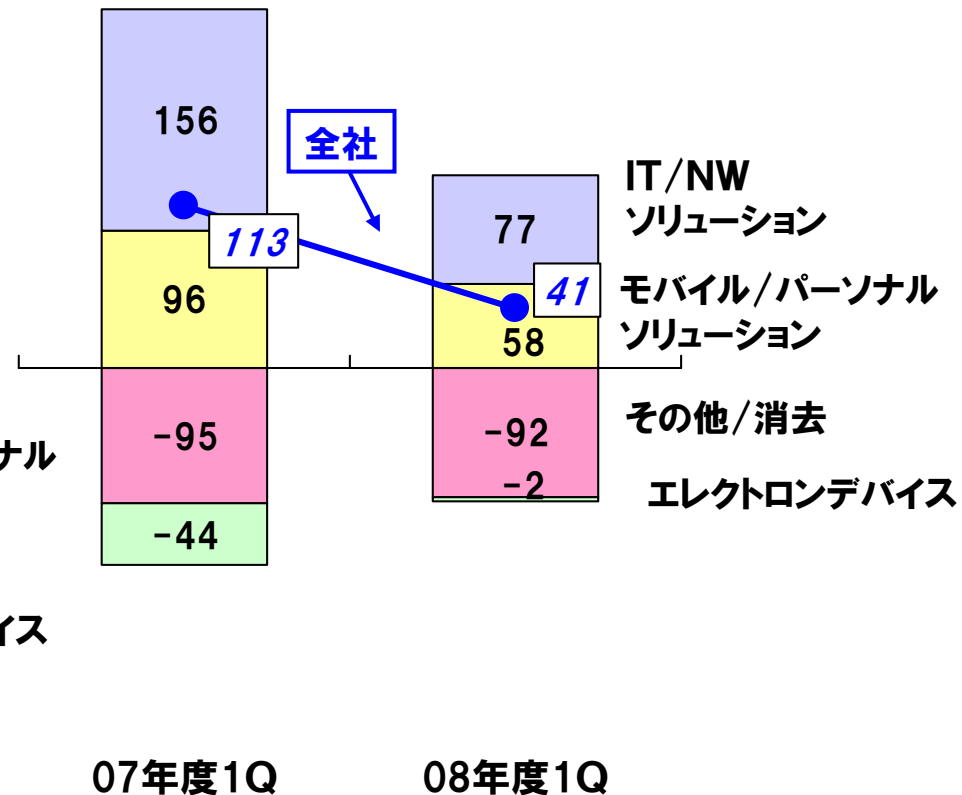
売上高

(億円)



営業損益

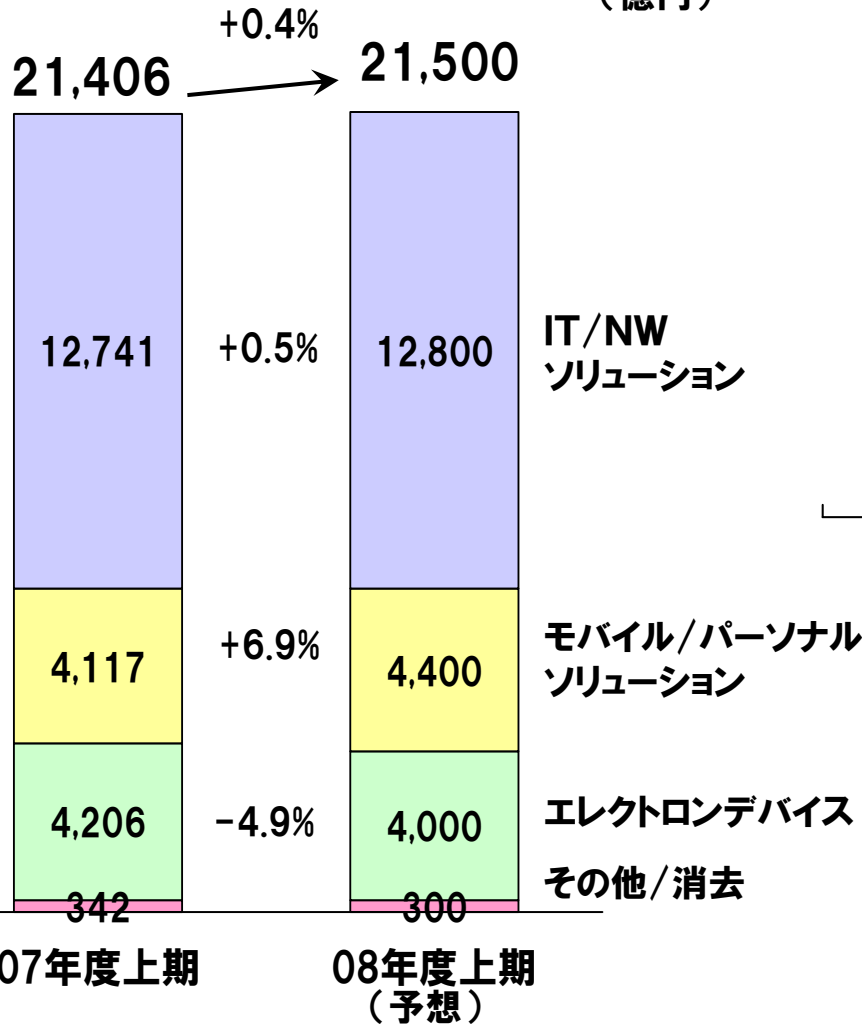
(億円)



08年度上期 セグメント別予想

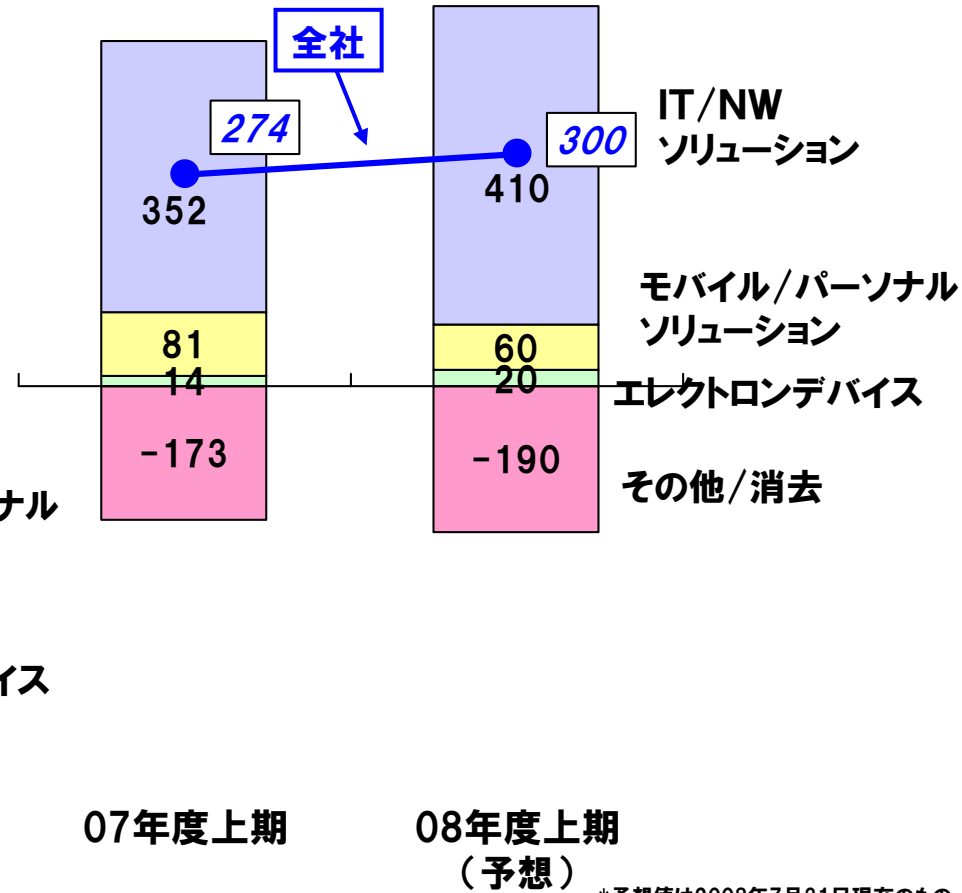
売上高

(億円)



営業損益

(億円)

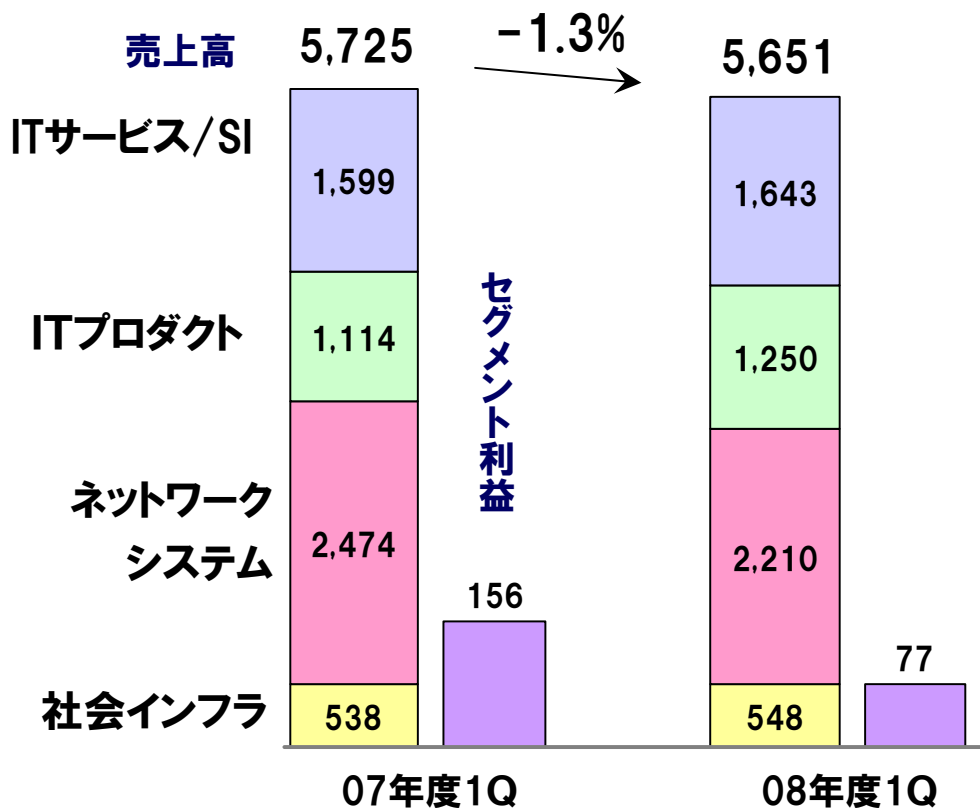


*予想値は2008年7月31日現在のもの

IT/NWソリューション事業

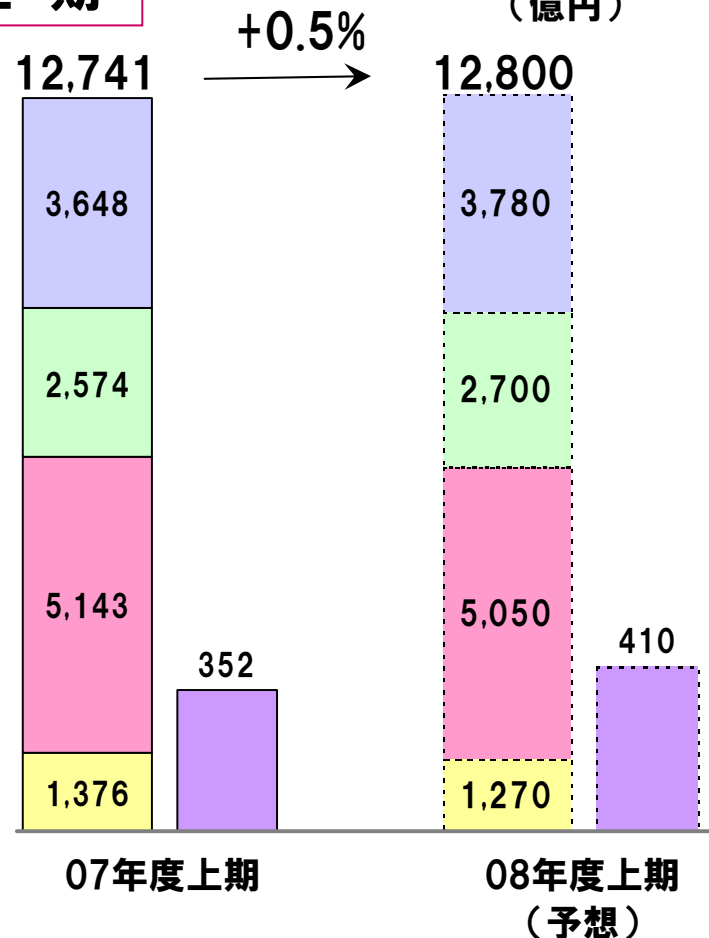
1 Q

(億円)



上期

(億円)



*予想値は2008年7月31日現在のもの

IT/NWソリューション事業

■ ITサービス/SI

◇市場環境

- ・景気の不透明感あるものの、足元のIT投資は堅調

◇当社の状況

- ・製造、公共など順調に増収
- ・「SI革新」による収益性改善努力を継続

■ ITプロダクト

◇市場環境

- ・厳しい価格低下圧力が継続するも、堅調な需要

◇当社の状況

- ・メインフレームの更改需要などが貢献
- ・製品力強化を継続



ECO CENTER

IT/NWソリューション事業

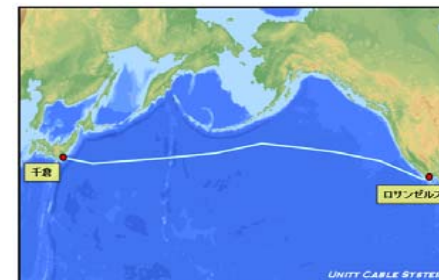
■ ネットワークシステム

◇ 市場環境

- 次世代ネットワークの構築は順調に進展
- 国内モバイルキャリアは一段の設備投資抑制
- 為替変動およびグローバルな競争の激化・価格下落の進行

◇ 当社の状況

- NGN関連NWソフト、光トランスポート機器、ルータ/スイッチは売上増
- 海外向け売上は為替変動、競争激化の影響により売上減
- 売上減(含む為替インパクト)、およびグローバル向け新製品の開発注力で前年同期比減益



光海底ケーブルシステム Unityに着手

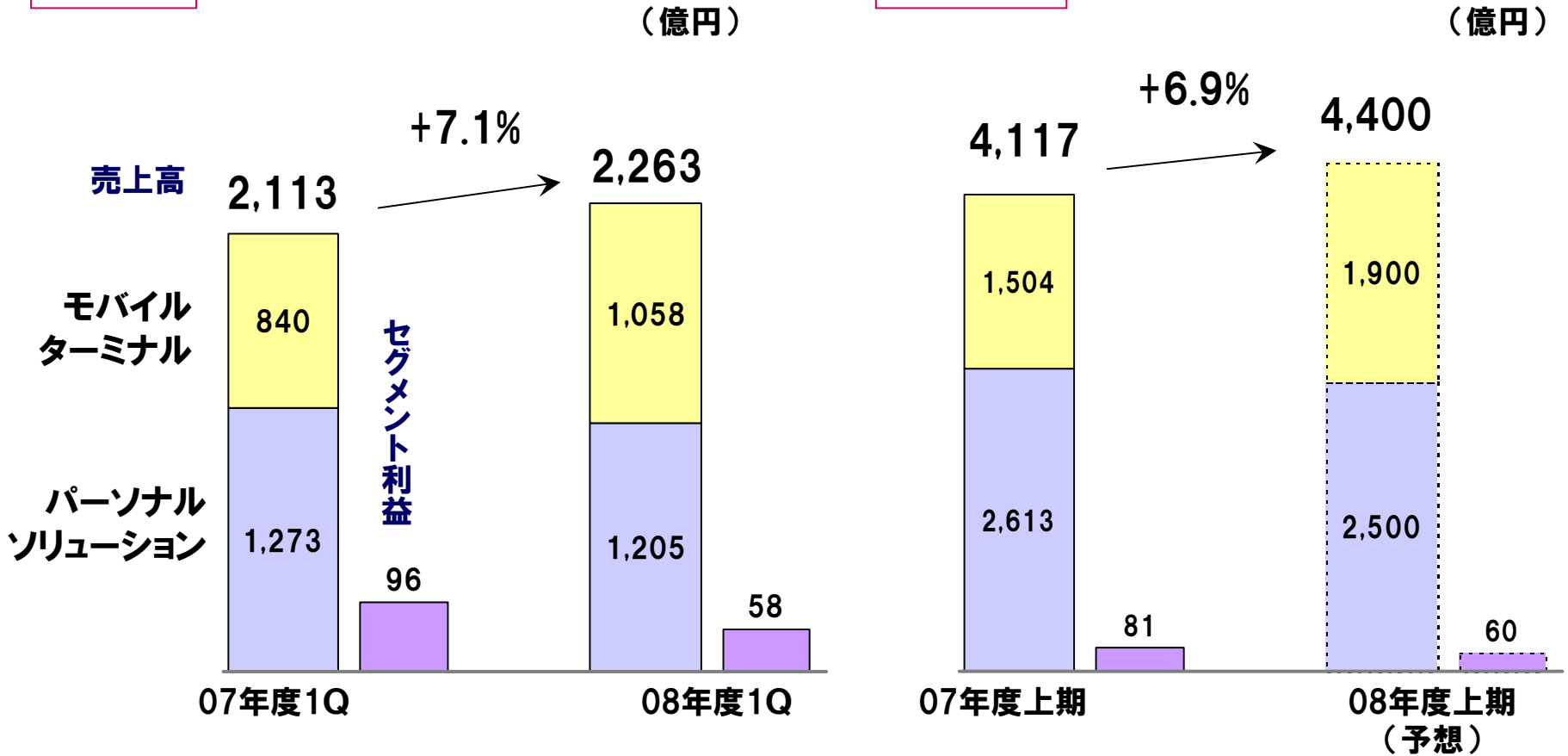
[1Qの成果]

- サービス導入支援システムの海外市場展開に向けNetCracker社買収を決定
- 海底ケーブルシステムの安定供給に向けOCC社買収を決定
- NTTドコモのホームUを実現するサービス基盤を提供

モバイル/パーソナルソリューション事業

1 Q

上期



*予想値は2008年7月31日現在のもの

モバイル/パーソナルソリューション事業

■ モバイルターミナル:

◇ 市場環境

- ・買い替え期間長期化等により市場規模が縮小
- ・端末の多様化が一層進展(フルタッチスクリーン、コラボモデルなど)

◇ 当社の状況

- ・1Q 出荷台数 160万台(前年同期比 3割増)
開発効率化を推進、ニーズ多様化に合わせ新製品8機種を発表
～スリムワンセグ端末など高い評価
SBM向け製品投入を再開

■ パーソナルソリューション:

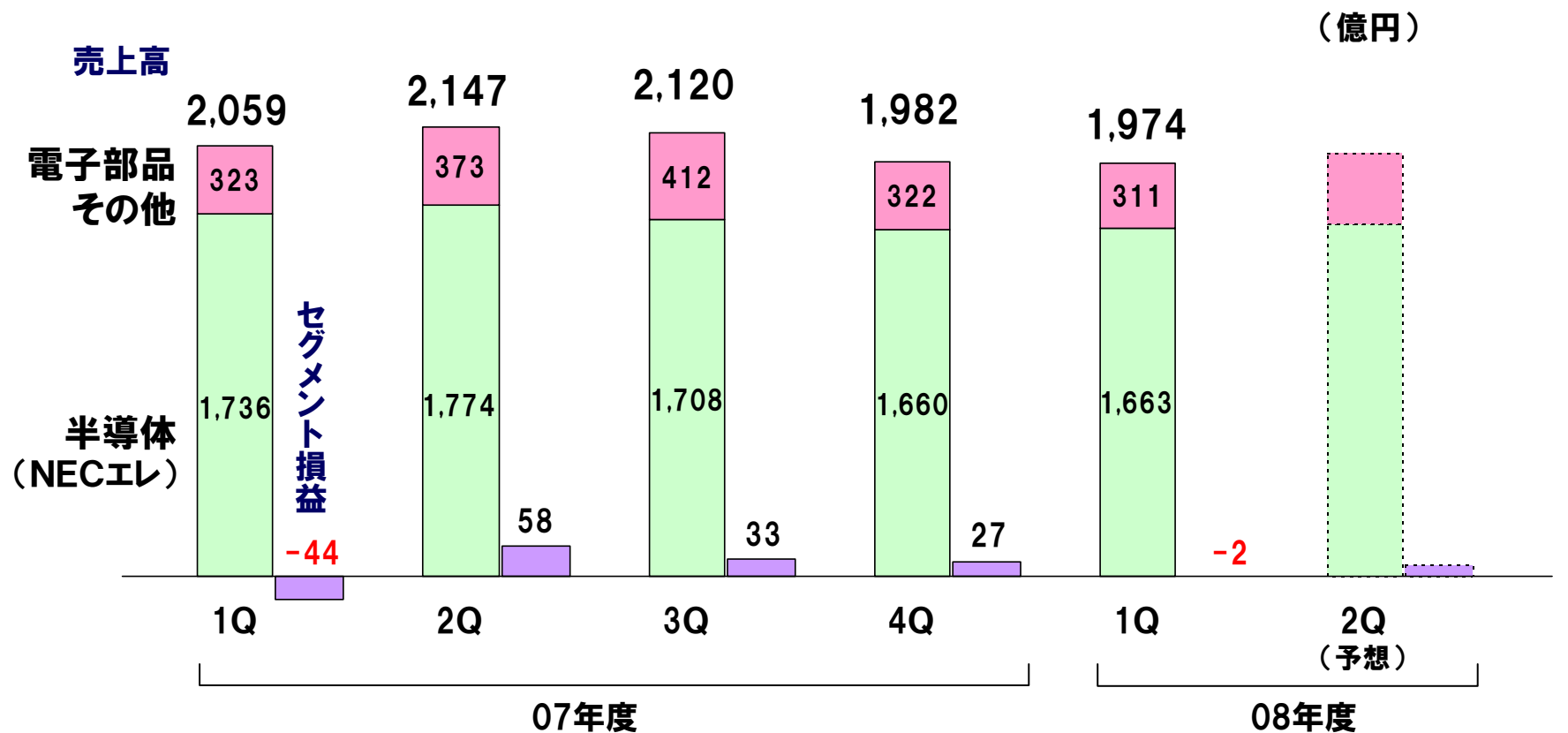
◇ 市場環境

- ・PC市場は個人向け、企業向けとも前年同期比若干増加
- ・低価格化の進行と競争激化

◇ 当社の状況

- ・国内PCは着実に収益を確保

エレクトロニクスデバイス事業



*予想値は2008年7月31日現在のもの

(億円)	07年度				08年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
半導体営業損益	-22	41	30	2	17

※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

Empowered by Innovation

NEC